

平成27年5月29日

被爆70年 展示企画
ミュンスター大学（ドイツ）とアートプロジェクト共同開催

Recognition of History 歴史の思考ーヒロシマー

平成27年8月6日、原爆投下70年を迎えます。

広島大学では、原爆投下の時間に合わせて行われる、ドイツ・ミュンスター大学とアートプロジェクトを共同開催します。

【日時】平成27年8月6日（金）8:15 ～ 8月9日（日）6:15

【場所】広島大学法人本部棟玄関ロビー（東広島キャンパス）

広島大学中央図書館玄関ロビー（ 〃 ）

広島大学東千田総合校舎S棟玄関ロビー（東千田キャンパス）

【展示の概要】

ビデオインスタレーション作品 Recognition of History（歴史の思考ーヒロシマー）とパフォーマンスの記録画を、交互に70時間ループ再生するものです。

◆作品 Recognition of History（歴史の思考ーヒロシマー）

昭和20年から平成25年までに施行された2054回の核実験の名前と日付が映画のテロップのようにゆっくりと無音で流れるものです。

◆パフォーマンス

本企画提案者のエド サトミ氏（江戸智美）（空間インスタレーション、現代美術作家）が、本学学生団体「広島大学原爆瓦発送之会」が平成24年に寄贈した被爆瓦6段片と、ミュンスター市内で収集した石片をゆっくりと積み上げます。積み上げた石の塔が崩れても、また黙々と積み上げるという動作を7分間繰り返します。

【広島大学での開催の目的】

美術館でも、ギャラリーでもない、大学という学びの場でのアートプロジェクトの実施は、過去の原爆の歴史を幅広い層に再思考するきっかけを作ります。

大学という場での、日常生活・いつもの風景の中で、アートを媒体として70年経ったヒロシマーの歴史を発信します。

今回のパフォーマンスに、本学から寄贈した原爆瓦が使用されるとともに、被爆70年という年に、被爆地の大学として、また平和を希求する人材を育成する大学として、このアートプロジェクトに参加することは意義深いものです。

【お問い合わせ先】

広島大学研究企画室（担当：三代川）
電話： 082-424-4427